

# きらきら通信 No.37

## ～ヒャッコロ・ヒャクイッキ…人生は、 なりたい自分になる為の旅路?～

山口 平太郎

米戸杜舞子(コメト・トマコ)は、雑貨販売を営む会社でインターネット事業部に所属し、出荷を担当する仕事をしている30歳代のシングルマザー。やっと高校生になった男の子を必死に育てている。入社してから7年程度になるが、息子に不憫な想いはさせまいと毎日毎日一生懸命働いている。

なのだが... 入社当初から失敗・失策・失念の連続である。出荷が大量にある時などに商品を取り違えて誤納品をしてしまったり、仕事の指示内容が多岐に渡ると処理することをウっかり忘れてしまう案件が出たり... そのことによる自己嫌悪から自己否定の習慣を払拭できずに心が落ち込むことが度々である。

ネチネチとした皮肉が得意な直属上司で40歳代の嫌味(イヤミ)さんに滾々と説教をされることもしばしばあるが、悔しいとか、憎いとか、そういった感情よりも申し訳ない気持ちが勝り、心の落ち込みに拍車をかける。同じようなキャリアの同僚と自分を比較すると、情けなくて枕を濡らすことも数えきれないほど。それならまだよいが、こみ上げるものが抑えられなくなると、職場でも涙腺が崩壊してしまう。

嘘偽りなく本当に一生懸命やっている。どうにかして失敗しない自分になりたい。なのに、どういう訳か?失敗をしてしまう。大量出荷の時には一段と集中しているつもりなのだが、数が多くなると上手く頭の整理ができなかったり、複数のことを処理しようとする一つのこと集中し過ぎてしまうのか、他のことをうっかりしてしまったり。

もしかして自分は何か障害があるのでは?と、書店に駆け込み適当な書籍を購入して目を通したころ、思い当たる節がいくつか記述されていた。しかし、それを確かめて事実を知ること不安を感じ、診断を受けたことは無い。

それでも、杜舞子がこの職場で働き続けている?働き続けていられる?理由がある。

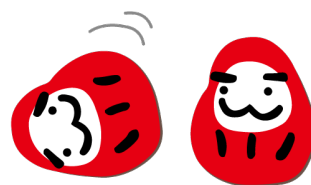
入社の数年後、このままでは、この会社を辞めなければ周囲に迷惑がかかる。。と、意を決し、したためた辞表を握りしめて、事業部の責任者である部長で50歳代の小川(オガワ)さんに辞意を表明した。複数の前職を渡り歩き、たどり着いた会社。扱っている雑貨が好きだし、何よりも息子のことが脳裏をよぎり、辞めたくないのが本音だが。

「いいんだよ、米戸さん。失敗しても。人間は失敗する生き物なんだ。大事なことは失敗した後に何をするかなんだよ。それに、人生はなりたい自分になる為の旅路みたいなものだから。七転び八起きって言うけどさ。その数で成就するなら超人だけ。凡人は百転び百一起き!それでもダメなら二百転び二百一起き!そうそう、何回転んでもいいんだよ。なりたい自分になる為大事なことは、転ぶ数より起きる数が一つだけ多いってことなんだよ。山の頂を目指す旅路もあれば、平坦だったり下り坂だったりする旅路もある。他人と比較することより、自分の旅路を一步だけでも前に進めたか?なんじゃないかなあ。もちろん旅路に休憩は必要だけど、落ち込んでばかりじゃ前に進めないだろ?米戸さんなら大丈夫。なぜって?人生は一生懸命やっている努力を裏切らないんだってさ。」

失敗することはこの世の終わり... くらいに感じていた杜舞子は、失敗してもいいと言う小川部長の言葉が、何とも言えずに心に刺さり、それ以来、それが生きるモチベーションになっている。現在も失敗は続けているが、職場の仲間の理解に支えられ、その数は減少し、何とっ!2023年を迎えてからは、今のところノーミスだ。

そう、杜舞子の合言葉は「ヒャッコロ・ヒャクイッキ(百転び百一起き)」。

本章は実話に基づいているが、登場人物は仮名で、多少の脚色を加えていることをお断りしておく。



# 社会福祉法人コメットのあゆみ

## その⑥ コメット会館・建設秘話

小川 誓順

「建設秘話」という表現が適当であるか、少し迷うところであるが、私にとってはコメット会館が現在地（原町田5-4-19）に建っていることが奇跡なのだと思うので、その様な表現になってしまいました。

コメット会館の建設には土地代・建設費・備品など総額6億5千万円が必要でした。このことは、以前にもお話ししたかと思いますが<sup>(注)</sup>、法人の設立と同時に国・東京都・町田市からの補助金や、共同募金会や馬主協会からの寄付金などで目途が立たったが、それらを貰える条件が“近隣住民からの建設同意書を取り付ける”と言うことでした。行政の説明では、一人の反対者が出ても補助金は出せなくなるとのことでした。

最近のニュースなので、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、どこかの市で空き地を公園として整備しようとしたところ、近隣の住民の一人が「公園にすると、子供たちが集まってくるから、ダメだ!」と反対し、その計画は破綻したとのこと。また、ある地域では、老人ホームを建設するにも「地価が下がる!」と反対意見が出て、なかなか建設が進まないとの話を、聞くことがあります。

私たちのコメット会館が建つのは市街地であり、しかもメインストリートに面しているのですから、そんな町のど真ん中に障がい者の施設、しかも精神障害者の通所施設が建設されるなどということに反対する人が居ても仕方ないと、私は思っていたのですが・・・

原町田5丁目の町内会館を借りて「建設説明会」を開催したところ、誰一人として反対者がいなかった

たのです。私は驚くと同時に、自分たちがやって来たことが評価されたのだと感激したことを覚えています。これは奇跡と言っても良いのでは...と私は考えるのですが、皆様方はどうおもいますか？

これは自己満足かもしれませんが、私たちは「開かれた作業所として」地域に開放し会議や会合に貸出したり、落語会を開き近隣の方々に呼びかけ、地域で活動している音楽グループを呼んでライブ演奏会を開催し、映画会を開き、餅つき大会をやり近隣の方々に振る舞ったりなど、「作業所」として自己完結せずに活動して来た賜物と自負しております。

注：きらきら通信 No35 に記載。

コメット会館は 1997 年 5 月完成

## 境川クリーンアップ作戦 今年は通常通り実施します!

今年はやっとコロナ禍も沈静化に向かい、3年ぶりに通常通りの実施を予定しています。実施予定日は5月28日(日)9:00です。

とはいえ実行委員会としては今後の新型コロナウイルスの感染状況の推移を見極める必要があります。参加を希望される方は下記のことにご留意ください。

- ① 当日朝起きた時に検温する
  - ② 当日体調の悪い方は参加を自粛してください
  - ③ 会場ではマスクの着用、咳エチケット、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください
- 以上ですが、ご不明な点は実行委員会事務局までお問い合わせください。  
以上、よろしくお願ひ致します。



始めよう!仲間作りと川掃除!

### サカイガワ クリーンアップ 作戦 2023.

5/28(日) 9:00 AM  
境川(元城11会館)で河川清掃

※雨天決行(荒天中止)  
詳細は公式サイトをご覧ください  
<https://sakaigawacup.jp/>

主催:境川クリーンアップ作戦実行委員会  
後援:相模原市/町田市 協力:東京都/神奈川県

境川を素敵なチャラーに!!  
フェンス de キャラー  
4/22~5/28の間にあなたの作品がフェンスに飾られます!

今年のテーマは「笑顔がいっぱい 境川」  
作品募集については公式サイトをご覧ください。

境川クリーンアップ作戦 実行委員会事務局  
〒194-0013 町田市原町田5-4-19 社会福祉法人コメット友の会会館付  
TEL 042-785-4350 FAX 050-3606-6710  
メール info@sakaigawacup.jp

### コメット友の会へのご入会・ご継続のお願い

友の会にご協力ありがとうございます。  
今後も法人コメットが地域で活動出来るようご支援宜しくお願ひ致します。  
(年会費)一口 1,000円 ※一口以上何口でも可  
お振込み先  
郵便振替 00190-6-684618 コメット友の会  
銀行振込 ゆうちょ銀行 店番 019  
店名 019店(ゼロイチキューウ店)  
当座預金 0684618 コメットトモノカイ

町田相談支援センター・ビギン（以下「ビギン」）は障がい福祉サービス（障害者総合支援法）に基づき、「指定特定・一般相談支援事業」として2013年11月1日に事業所指定を受け、社会福祉法人コメットにおいて活動を開始しました。「ビギン」のMさん（法人勤務歴15年）にお聞きしました。



相談室

Q: 「ビギン」の「特定相談支援」と「一般相談支援」の概要などについてお話下さい

特定相談支援事業では「計画相談」を行っています。「計画相談」は「サービス等利用計画」の作成と定期的な振り返り（モニタリング）を主にを行います。障がい福祉サービスを利用するときには「サービス等利用計画」を作成する必要があります。その人らしい生活を実現するためにお話を聴き目標を立て、相談支援専門員が計画を作成します。福祉サービス利用開始後も定期的に見直しながら、希望や目標が達成されているかを確認し、必要に応じて福祉サービスの調整や変更も行います。

一般相談支援事業では「地域移行・地域定着」の支援を行っています。「地域移行」は精神科に長期入院されている方や、様々な事情により退院が困難な方が地域で安心して暮らしていけるよう退院までの準備をお手伝いします。外出の練習から始める方もいます。住まいや日中活動の場を探し、退院後の必要品の買い物を一緒に行うなどをします。「地域定着」は退院やグループホーム卒業などで一人暮らしを始める方を対象に、地域で暮らすサポートを24時間体制で行います（最大1年間）。

Q: 地域の他サービス・事業所・医療機関等との連携についてお話し下さい

「計画相談」はモニタリングのタイミングで、その方が利用している事業所にもサービス提供状況を伺っています。必要に応じて関係機関が集まりカンファレンスを行ったり、受診に同行し状況を伝えるなどの連携を行っています。「地域移行」の初動では病院との連携がその後の支援に大きく影響してきます。また、ご家族との信頼関係も重要なので、ご本人は勿論ご家族も安心できる関係作りを心掛けています。

Q: 「コメット」内での他の事業との関係についてお話下さい

コメット内の事業者（作業所・グループホーム・訪問看護）とは相談しやすい関係です。連携も取りやすくこまめに情報共有をしています。しかし、同じ法人だからといって安易に利用者さんに紹介することはなく、利用者さんの希望に合うかどうかを一番に考えて事業所を選びます。

Q: 仕事上の苦勞や、やりがいなどは？

どの職場でもやりがいを感じてきましたが、相談支援はとても勉強になっています。制度や福祉サービスを深く知ることができ、視野・知識・見方が広がりました。他の事業所との連携で人との繋がりも広がりました。利用者さんにふさわしいサービス（グループホームなど）が見つからない時など、それに捕らわれてしまうこともあります。利用者さんが希望する生活に近づけるようにと思って支援していますが、私は世話焼きのところがあるのでやり過ぎないように心掛けています。提出書類や支援記録が多く、その作成のための時間を作ることに苦勞しています。しかし、記録は支援の継続性と連続性のためにとっても大切だと考えています。

Q: 個人的なことをお聞きします。余暇の楽しみや過ごし方などをお話し下さい。

友人と山歩きをしたり、ゴルフの打ちっ放しに行ったりします。また、スポーツサークルで色々なスポーツ（バドミントン・卓球・バレーボールなど）を楽しんでいます。そして、山歩きの後の温泉も好きです。

Mさんありがとうございました。

聞き手：宮城 まとめ：新井

# よむ、みる、きく

## 私とネコと映画

### 「猫たちのアパートメント」

(2022年製作/配給：パンドラ)

「犬派か？猫派か？」と聞かれたら、娘がまだ自力で排泄もできない黒い子猫を拾って来て以来、すっかり猫派になってしまった、と答える。最初のネコが亡くなり、その後やはり黒い年齢不詳の保護猫を2匹引き取ったけれど、そのネコたちも亡くなり、もう今から飼うには、私たちが責任の持てない年齢になり飼ってはいない。

よく近所で見かけた野良猫は、コロナ以前から見かけなくなり「猫に餌をあげないで下さい」の張り紙も、効果は不明の庭先のペットボトルも見かけなくなった。あの猫達は？などと考えることも少なくなってきたころ、韓国のチョン・ジェウン監督「猫たちのアパートメント」というドキュメンタリー映画と出会った。

ソウル市内の6000世帯が住む、ある大型団地が老朽化し再開発のために取り壊される事になった。そこには250匹の野良猫達が住んでいた。住民の引越しが始まり、猫達にはお構いなく、解体工事も少しずつ進んでいく。この猫達はどうなるのか？猫と住民達のお引越しまく作戦が始まる。団地住民の意見を聞く会を開き、再開発地域から安全な場所に移住させる「猫の幸せ計画クラブ」の活動が始まる。この計画にネコママといわれる野良たちを餌をあげ世話をして来た人たちも参加している。

私が近所で見かけた野良達は一様に痩せて薄汚れていたが、映画ではこの猫ママのおかげで野良達は



毛艶も良く丸々とし、堂々としたこの住人顔をしている。「体調の悪そうな猫に人間の薬を飲ませたら元気になった」と話す引越しまくを控えた薬局の店主や、ネコママ、この猫達のご近所さんとのほどよい距離に、「猫」は私たちの社会の変化を示す物差しです」と監督は言う。社会の矛盾、動物の権利や環境問題の改善が進まない一方で、野生の動物達がどんどん絶滅している。こんな時代、私たち人間は安心して、平和に暮らしていけるのだろうか。(宮城 ゆみ子)

## 「公民館のしあさって」

公民館のしあさって出版委員会

この本はひょんなことから、でもたぶん必然だった出会いから、何とエジプトに公民館をつくってしまったプロジェクトのメンバーが、今の日本でこれからの公民館について考えるきっかけにしたいと出版されました。

私にとって町田の公民館は知りたい事が学べる場、人と出会う場、地域で新しいことを始めたいときに一緒に考えてくれる職員がいるところでした。

それがいつの間にか場所や講座のサービスを提供する側とされる側の関係だけになってしまった気がします。それはどうも全国的な傾向のようです。

少子高齢化や貧困と格差、孤立など地域の課題や社会を意識して学んで活動に繋げるために、公民館で何が出来るかいろいろな人と話して考えてみたいと思いました。

(佐藤 優子)



# コメント友の会 2022年度 報告書

(2022年1月1日～2022年12月31日)

## 2022年度・事業実施報告書

1月26日 コメント友の会総会  
 2月16日 運営会議(コメント会館の管理等検討)  
 2月28日 事務の引き継ぎ  
 4月25日 きらきら通信・No.34 発行  
 5月23日 運営会議(境川クリーンアップ作戦等打ち合わせ)  
 7月12日 運営会議(映画上映等について検討)  
 8月9日 運営会議  
 8月31日 きらきら通信・No.35 発行  
 9月13日 運営会議(映画上映等について検討)  
 10月11日 運営会議(映画上映等について検討)  
 11月17日 運営会議(きらきら通信・映画上映等検討)  
 12月1日 上映試写会  
 12月7日 マイクロプラスチック・ストーリー上映会  
 12月27日 きらきら通信・No.36 発行

## 2023年度 事業計画書

(自)2023年1月1日～(至)2023年12月31日  
 (会議等)  
 総会 年1回  
 企画・運営会議 年8回  
 (通信等)  
 きらきら通信発行 年2-3回(4月/8月/12月)  
 \*発行日の2ヶ月程度前から準備開始  
 (イベント等)  
 地域交流イベント・学習会等 年1-2回  
 境川クリーンアップ作戦参加 年1回(5月)  
 (その他)  
 コメント会館5階多目的ホールの管理

## 2022年度 収支決算報告書

(収入)

科目	予算額	収入済額	備考
会費	150,000	95,000	39件
事業収入	50,000	37,700	上映会、会館使用料
寄付金	10,000	20,754	カンパ等
雑収入	5,000	340	利息
本部繰入金	0	0	
前期繰越金	184,122	184,122	
合計	399,122	337,916	

(支出)

科目	予算額	支出額	備考
事業費支出	80,000	43,400	上映会チラシ印刷費含む
通信運搬費	70,000	20,472	振込手数料、通信費
印刷製本費	40,000	25,410	きらきら通信他
事務費	20,000	770	封筒、事務用品
予備費	50,000	0	
雑費	29,122	0	
法人支援積立金	110,000	0	
小計	399,122	90,052	
繰越金		247,864	
合計	399,122	337,916	

## 2022年度特別会計収支報告書

(収入)

概要	予算額	収入済額	備考
一般会計より積み立て	110,000	0	
繰越金		1,390,000	
合計	110,000	1,390,000	

(支出)

概要	予算額	支出額	備考
法人への寄付	0	1,000,000	小麦の家のホイロに
2023年度へ繰越		390,000	
合計	0	1,390,000	

上記の通り、コメント友の会の2022年度の収支決算を報告致します。

2023年1月25日(水)

会計 小川 誓順

## 2023年度 収支予算書

(収入)

科目	予算額	科目	予算額
会費	100,000	事業費支出	80,000
事業収入	40,000	通信運搬費	50,000
寄付金収入	5,000	印刷製本費	50,000
雑収入	1,000	事務費	20,000
		予備費	550,000
前期繰越金	247,864	雑費	33,864
特別会計から	390,000	法人支援積立金	0
合計	783,864	合計	783,864

※本年度で、特別会計は一般会計に一本化されました。

以上、1月25日に開催されたコメント友の会総会の概要を報告します。